

顧客(お客さま)本位の業務運営の取組状況

キャピタル アセットマネジメント株式会社(以下、当社)は、2017年6月に、「顧客(お客さま)本位の業務運営」を実現する為に6つの方針を策定し、公表いたしました。公表以降1年間における「顧客(お客さま)本位の業務運営」に関する取組状況をまとめましたので、お知らせいたします。より良い業務運営を実現する為に、今後も、当該方針に係る取組み状況を定期的に公表致します。

方針1:お客さまへの最善の利益の追求

1. 当社は、お客さまの長期的な資産形成の目的の為に、最善の運用成果を追求し運営をしております。当社ファンドの純資産総額加重平均期間収益率(分配金込み)は次の通りです。
(2018年6月末時点)

全公募ファンド 加重平均期間収益率

1年	3年	5年
12.5%	34.6%	58.9%

内 外国株ファンド 加重平均期間収益率

1年	3年	5年
13.0%	35.9%	61.3%

内 日本株ファンド 加重平均期間収益率

1年	3年
12.0%	0.8%

内 外国債券ファンド 加重平均期間収益率

1年	3年	5年
-3.0%	-3.8%	32.5%

2. 2018年5月に、「アセアン CAM-VIP ファンド」の運用管理費用(信託報酬)の内、ハイ・ウォーター・マーク方式による実績報酬 21.6%(税引 20%)を廃止いたしました。

方針2:利益相反の適切な管理

1. 当社は、2018年6月の取締役会及び定時株主総会において、2018年10月1日を効力発生日として「キャピタル フィナンシャルホールディングス株式会社」を完全親会社とする株式移転計画を決議しました。当社は、2010年3月に、キャピタル・パートナーズ証券株式会社(CPS)の系列資産運用会社として発足して以来その傘下として運営してまいりました。株式移転により、親会社証券から独立して経営することで、より充実した「顧客本位の業務運営」に努めて参ります。
2. 当社運用純資産総額に占めるグループ会社キャピタル・パートナーズ証券株式会社の当社投資信託販売純資産額の割合は低下傾向にあります。

投資信託純資産総額に占めるCPS販売投資信託純資産額の割合



方針3:手数料等のお客さまに解り易い説明

1. 当社は、2017年10月よりホームページ上で、信託報酬(運用に掛かる手数料)及び投資信託に掛かる諸費用等をお客さまへ解り易く説明しております。

方針4:お客さまに重要な情報提供

1. ESG投資について、より多くの人たちにもっと知っていただきたく、2018年2月20日に「ESG投資セミナー」“始めよう、今こそESG投資”を開催いたしました。そして、その講演録を2018年4月にホームページに公開いたしました。
2. さらに、2018年6月に、東京メトロポリタンテレビジョン(MX)の東京マーケットワイド STOCK VOICEに、当社CAM ESG日本株ファンド担当ファンドマネージャーが出演し、ESG投資について説明いたしました。また、その動画をホームページに公開しました。

3. 市況に大きな変化が生じた時には、基準価額 5%超下落した場合は必ず、又、5%以下でも必要と判断した場合は、翌日に市況レポートを作成して、ホームページの「ファンドのお知らせ」欄に掲載しました。
4. 2017年7月よりホームページの刷新による情報開示の拡充と明瞭化を図っております。具体的には、アセアン市況についてのデیلیー、調査部からのマンスリーレポートをホームページに定期的に掲載しています。
5. 当社は、「運用報告書」等における運用担当者による今後の見通しコメント欄の中で、2017年10月より投資リスクについても言及するように致しております。
6. 当社は、投資信託運用のプロセスを明瞭化し、2017年7月よりホームページに開示致しております。

方針5:お客さまにふさわしいサービスの提供

1. 当社は、販売会社と緊密にコミュニケーションを図ることにより、お客さまの投資ニーズや評価、要望、意見等を取集し、より分かりやすいファンドの販売用資料、補足説明資料の作成・改訂を行いました。

2018年6月末までの1年間に、販売用資料、補足説明資料等の作成・改訂数は合計34件でした。(継続的に数字等の更新のみの資料については加算せず)

方針6:ガバナンス体制の整備と社員の意識向上を継続

1. 当社役職員のコンプライアンス意識向上目的で、2017年9月、12月、2018年3月に3回社内研修を開催いたしました。

以 上